

## 資 料

## 齊民要術所載の栽桑養蠶法

王 福 山 譯

## 序

齊民要術は支那の農業古典として最も優秀なるもので、後魏時代の著作であるから、今より凡そ一五〇〇年を遡つて居る。全部で十卷九十二章から成れる大集成である。支那では北宋、南宋以降二十回許り此書の異版が複製されたと云ふが、長年の星霜を経る間に古いものは皆散逸して了つたさうである。

然るに幸ひ我が邦の梅尾高山寺には残缺ながら北宋版の第五、第八の兩卷が傳はり、現に京都博物館に保護されてゐるが、非常に貴重なもので國寶としての價值充分であると云ふ。この殘本第五卷の眞先に栽桑、養蠶の事が論じられて居り、吾々蠶桑に従事する者にとつて温古知新の絶好なる材料と信ずるから、予は嘗て屢々拙著に引用した事があるが、それは栽桑に關する事項にのみ止まり、養蠶に關する部分には及ばなかつたのである。偶々今回本校養蠶科第十七回卒業生王福山君が研究生として生物學教室に居られるので、日支兩國語に堪能なる同君に依囑して、同書の第四十五章全部の譯文を作製し大方の參考に資する次第である。

—遠藤保太郎しるす—

本書ハ後魏(西曆三八六——五三四年)ノ高陽(今河南省杞縣高陽城)太守(知府年俸二千石)賈思勰氏ノ原書ニシテ、北宋(西曆九六〇——一一二六年)ノ時代ノ版本デアル。清宣統甲寅年ニ羅振玉氏ガ神田香巖氏ノ紹介ニ依リテ京都博物館ヨリ借出シ復寫再刊シタモノデアル。

『』内ノ文句ハ原本ノ註ニシテ、( )内ノ文句ハ譯補シタモノデアル。

書中、譯者ノ淺學ノタメト活版不明ノタメニ誤譯シタ處多々アルコト、思ハレルガ比ノ點諸君ノ御賢察ヲ乞フ次第デアル。 譯者誌ス

## 種 桑 柘

後魏高陽太守 賈 思 勰

『爾雅(書名)ニ曰ク、桑ヲ辨シテ葑ト柘(版不明)有リ。註ニ曰ク、辨ハ半也。女桑揆桑ハ、註ニ曰ク、今ハ俗ニ桑樹ノ小ニシテ而モ長條ナル者ヲ呼ンデ女桑樹也トス。粟桑山桑ハ、註ニ曰ク、桑ニ似タル材ヲ中シテ(用ヒテ)弓及車轆ト爲ス。神記(書名)ヲ搜シテ曰ク、太古ノ時遠征ノ人有リキ、家ニ女一、並ビニ馬一匹有リ。女ハ父ヲ思ヒ 乃チ馬ニ戯レテ曰ク、吾ノ爲メ父ヲ迎ヘ能フレバ、吾將ニ汝馬ニ嫁サン。馬ハ靦ヲ絶テテ而シテ去リ、父ノ所ニ至リキ。父ハ家中ニ故有リヤト疑ヘリ。乘リテ而シテ還リキ。後ニ馬ハ女ヲ見テ怒リ而シテ奮撃ス。父ハ之ヲ怪シミテ密ニ女ニ問フ。女ハ具テヲ以ツテ父ニ告ゲリ 父ハ馬ヲ射殺シ、皮ヲ庭ニ於テ曝シタリ。女ハ皮ノ所ニ至リテ、足ヲ以ツテ之ヲ蹙テ曰ク、爾馬、人ヲ婦ニ爲サント欲シ、自ラ屠剝ニ取ル。如何。言未ダ終ラザルニ皮ハ扈然トシテ起テ、女ヲ卷テ而シテ行ケリ。後大樹ノ枝間ニ於テ、女及馬ハ盡ク蠶ニ化シ 樹上ニ績シタルヲ得。世ハ蠶ヲ謂テ女兒ノ古ヘノ遺言也トス。因ニ其ノ樹ヲ名ヅケテ桑トナス。桑ハ喪ノ言也。今世ニ刑桑、蚯(版不明)桑ノ名有リ』。

桑樵熟シタル時、黑魯樵ヲ收ム 『黃魯桑ハ久ニ耐ズ。諺ニ曰ク、魯桑百、綿帛豊ナリ。其レハ桑好ク、功省キ、用多シトノ言ナリ』。即日、水ヲ以テ洶取シ、種子ヲ曬シテ燥シ、仍テ

畦(種(蒔)ク)『治畦、下水(灌水)一(皆)葵法(葵ノ栽培法)ノ如シ』常(除草)シテ淨カラシメ、明年正月(舊曆)ニ移シテ而シテ之ヲ栽ル。『仲春季春(モ亦得)』。率(大抵)五尺一根(株)トシ、『耕牧ヲ(家畜デ耕スコト)用セズ。凡ソ桑ヲ栽テ得ザリシ者ハ他故無シ。正(犁)ノ爲メ撥(掘リ出シノ意)シタリ。是ヲ以テ、須カラク概(密植)ニ稀(疏植)ニ用ズ。稀ニシテ犁ヲ通スル者ハ必ズ慎ミニ難シ。率(大抵)多死スル矣。且概タレバ則チ疾ク長ジ、大都(大抵)種樁(實生)スルノハ長ズルニ遲シ。壓枝 壓條法)ノ速ニ如カラズ。栽ニ無キ者ハ乃チ種樁スル也』。其ノ下 常ニ斷掘(掘ル事)シテ菘豆小豆ヲ種(蒔)ク。『二豆良美潤澤ニシテ桑ニ益ナリ』。栽後ニケ年慎シテ採沐(摘葉)スル勿レ。『小(樹ノ幼キ事)ニ採ル者ハ長ズルニ倍遲シ』。臂許(程)如キノ大サニ正月中之ヲ移ス。『亦堯(莖枝ノ事)ス須ラズ』。率(大抵)十步(一步ハ五尺)一樹トス。『陰(蔭)相接スル者ハ則チ禾豆ニ妨グ』。行ヲ小サク欲セバ椅角(三角形)トシ、正相當(方形)用セズ。『相當ル者ハ則チ犁ヲ妨グ』。須ク栽ニ取ル者ハ正月 二月中鉤戈ヲ以テ下枝ヲ壓ヘ地ニ著(届)カシメ、條葉數寸高ク生ジ、仍テ燥土ヲ以テ之ヲ壅(培土)ス。『土濕ナレバ則チ爛ル』。明年正月中截取りテ而シテ之ヲ種(植)ル。『住宅ノ上及園畔ニハ固ヨリ宜シ。即(假令)其ヲ定メ田(畑)中ニ種(植)ル者トシテモ、亦種樁法(實生法)ノ如キ、先ヅ簡種(密植)二三年、然ル後更ニ之ヲ移ス』。凡ソ桑田ヲ耕スニハ樹ノ近クマデ用セズ。『傷桑破犁所謂兩失ナリ』。其ノ犁ノ著(届)カナル處ハ斷地(地ヲ掘ルコト)シテ起ラシメ、浮根ヲ斫リ去リ、蠶矢(蠶糞)ヲ以テ之ニ糞(施肥)ス。『浮根ヲ去レバ糞犁(播種器)ヲ妨グズ。樹ヲ肥茂ナラシムル也』。又法(別法)『歲常ニ樹ヨリ一步繞リニ蕪菁ノ子ヲ散シ、收穫後、猪ヲ放テ之ヲ啖ジ、其地ヲ柔軟セシメテ耕ニ勝ル者有リ』。禾豆ヲ種(蒔)クニハ、逼樹(樹ニ接近セシムル事)ニ得ルヲ欲ス。『地利失ハズ。田又調熟ナリ。樹ノ繞リニ蕪菁ヲ散ス者ハ、勞セスシテ逼(近ツク)也』。剡桑(伐枝)ハ十二月ニ上時ト爲シ、正月ハ之ニ次ギ、二月ハ下トス。白汁出バ則チ葉ヲ損フ』。大率(大抵)桑多クナル者ハ、苦斫(多ク刈ル)スレバ宜シ。桑少ナキ者ハ、省剡(少シ刈ル)スレバ宜シ。秋斫(秋刈)ハ、苦(悉ク)ニ欲シ而モ日中ヲ避ク。『熟ニ觸レバ樹ハ焦枯トナリ、苦斫スレバ春條茂ルナリ。冬春ニハ省剡トシ、竟日(終日ノ意?)ニ作(ナスコト)ヲ得。春採(摘桑)ハ必須長梯高机ヲ用ヒ、數人一樹ニ條ヲ還シテ復タ枝ニ、務テ盡ク淨ラカシメ、且暮ニ欲シ而モ熱時避ルヲ要ス。『梯ヲ長カラシメズ、高カラシメズ、枝折人(摘桑人)多カラザレバ上下ニ勞ナリ。條ヲ還サザレバ枝ハ仍テ曲リ、採ニ淨カラザレバ鳩脚(枝ニ殘サレタ葉ノ形ノ意?)多シ。且暮ニ採シテ潤澤ナラシメ、熱ヲ避ザレバ條葉乾クナリ』。秋採(秋ニ摘葉)ハ省(少シ)ヲ欲シ、妨グル者ヲ裁去ス。『秋ニ多採ナレバ則チ條ヲ損フ』。樁熟シタル時多ク收メテ之ヲ曝乾シ、凶年ニシテ粟少ナキ時以テ食ニ當ツ可シ。魏略曰ク、楊沛(人名)ハ新鄭(河南省新鄭縣)ノ長ト爲リタルトキ、興平(陝西省興平縣)ノ末人(農ニ務メザル商賈業者)ハ多ク飢窮ナリ。沛ハ民ニ課シテ乾樁ヲ益畜(多ク積ルコト)シ、營豆ヲ收ム。其ノ餘有ラ閱シテ以テ不足ヲ補ヒ、積聚シテ千餘斛ヲ得タリ。太祖西ヘ天子ヲ迎ヘルニ會(際)シ、所將(從臣)千人ハ皆糧無シ。沛ハ謁見シテ乃チ乾樁ヲ進ム太祖ハ甚ダ善(讚美ノ意)シタリキ。太祖輔政ニ及シテ超ヘテ鄴令(鄴ハ河南省臨漳縣境、令ハ官名)ト爲リ、其ニ生口十人ト絹百匹ヲ賜ル。既ニシテ之ヲ厲マント欲シ、且以テ乾樁ノ報也トス。今(北宋時代)河自リ以北ニ大家ハ百石、小家尙數十斛ヲ收ム、故ニ杜葛ノ亂後ニ饑饉荐臻(饑饉重ネテ及ブ)、唯以テ樁ヲ全フニ仰ギ、數州之内民死シテ而シテ生ヲ命ズル者ハ乾樁ノ力也』。

種拓法 地ヲ耕シテ熟ナラシメ、糞(下種溝)ヲ襲ニ作り、柘子熟シタル時多ク收メ、水ヲ以テ淘汰シ、淨ラカナラシメテ曝乾シ、散訖(散種終了)シテ之ヲ勞(管理)ス。草生レバ拔却シテ荒洩セシムル勿レ。三年間ニ斷去(切ル)シテ渾心扶老杖(杖ノ名)ト爲スニ堪ル。『一相三文(杖

ノ値段』。十年＝四破シテ杖ト爲ス＝申(用フ)ス、『一根直(價)二十文』。馬鞭ト胡牀(寢台)ト爲ス＝任ジ。『馬鞭一枚直十文胡牀一具直百文』。十五年＝弓材ト爲ス＝任ジ。『一張三百』。亦履(ハキモノ)ヲ作ル＝堪ヘ、『兩(一足)六十』。碎木ヲ裁截シテ錐ノ刀ノ柄(柄)ヲ作ル＝申(使用ス)ス。『一箇直三文』二十年＝轅車(一輪車＝似テイル)材ヲ作ル＝好シ。『一乘直萬錢』。鞍橋(曲リ橋)ヲ作ラント欲スル者ハ生枝三尺許リ＝長ジ繩ヲ以テ旁枝繫グ。木樑釘＝テ地中＝著(届)ケ、橋ノ如キ＝曲ラシメテ十年後、是レ便(即チ)渾成柘橋ナリ。『一具直絹一匹』。快弓材トシテ作ラント欲スル者ハ、山石間ノ北陰ノ中＝之ヲ種(植)ルヲ宜トス。其高原山田＝シテ土厚ク水深キ處＝ハ多ク深坑ヲ掘リ、坑中＝於テ桑柘ヲ種植エル者ハ、坑ノ深サ＝隨テ一丈或ハ一丈五尺坑ヨリ直上＝出シ、乃チ疎＝扶テ此樹條ヲ四散シ、直＝シテ常材＝於テ異ナリ、十年之後、任セナル所ハ無シ(何デモ成リ得ルノ意)°『一樹直絹十匹』。柘葉＝テ蠶ヲ飼ヘバ絲ハ琴瑟等ノ絃ヲ作ル＝好シ。清鳴響徹＝シテ凡糸ヨリ勝ルコト遠矣。

禮記月令……(以下百七十一字略譯)

春秋考異郵曰ク、蠶ハ陽物ナリ。大＝水ヲ惡フ。故＝蠶ハ食ヒテ而モ飲マズ。陽ハ三春＝於テ立ツ。故＝蠶ハ三變シテ而シテ後＝七(七日?)＝於テ消死ス。三七二十一。故＝二十一日＝蠶(繭)トナル。淮南子曰ク、原蠶一歲＝再ビ登ル(飼育スルコト)ハ不利＝非ザル也。然レドモ王者ハ法＝テ之ヲ禁ズ。其ハ桑ヲ殘ス爲メ也。

汜勝之曰ク、種桑法ハ五月＝楛ヲ取り、水中＝著(入レテオク)ク。即チ手ヲ以テ之ヲ潰シ、水ヲ以テ灌シテ洗ヒ、子(種子)ヲ取りテ陰乾シ、肥?田十畝ヲ治メ、荒田久シク耕サ不ル者ハ尤モ善シ。好シク之ヲ耕治シ、畝毎＝黍ト楛子各三升ヲ以テ合セテ之ヲ種(蒔)ク。黍桑俱＝生ズル＝當リ、之ヲ鋤(間引ノ意?)シ、桑ヲ稀疏＝調適セシメ、黍熟レバ之ヲ穫リ、桑生ゼバ正＝黍ノ高サト平(同)ジ、因＝利鎌ヲ以テ地＝摩(接シテ)シテ之ヲ刈リ、曝シラ燥カシメ、後風調有ルトキ、火ヲ放シテ之ヲ燒ク。常＝逆風シテ火ヲ起ス。桑ハ春＝至リテ生ジ、一畝ハ三箔ノ蠶＝食セラル。

愈益期謁＝曰ク、日南蠶ハ八熟(年＝八回ノ意?)ナリ。蠶軟ク而モ薄シ。楛ハ採ルモノ少＝シテ多シ。永嘉記＝曰ク、永嘉＝ハ八輩蠶有リ、蛭玦蠶、『三月績(三月＝結繭スル)』。柘蠶、『四月初績』。蛭蠶、『四月初績』。愛玦、『五月初績』。愛蠶、『六月末績』。寒玦、『七月初績』。四出蠶、『九月初績』。寒蠶、『十月初績』。

凡ソ蠶ノ再ビ熟スル者ハ(再ビ蠶＝ナルト云フ意)、前輩ヲ皆之ヲ珍ト謂フ。珍ヲ養フ者ハ之ヲ少シク養フ。故＝愛蠶タル者ハ蛭蠶ノ種也。蛭玦ハ三月＝既＝績ス(結繭スル事)° 蛾出テ卵ヲ取り、七八日＝便(即チ)剖卵シテ蠶生ズ。之ヲ多ク養ヒ是レ蛭蠶ト爲ス。愛ヲ作ラント欲スル者ハ、蛭珍ノ卵ヲ取り、甕中＝藏メ、中ハ器ノ大小＝隨テ亦可ナリトシ、紙ヲ十＝シテ(蠶卵紙ヲ十枚入レルコト?或ハ充分入レルコト?或ハ只ノ紙デ何カ他ノ意味アル?) 器口ヲ蓋覆シ、甕『苦辨反』泉(天然ノ深イ岩中＝アル泉?) 冷水中＝安キ(動かナイ様＝オクコト)、冷氣＝其ノ出勢ヲ折セシメ、三七日(二十一日)＝得。然後剖生シ、之ヲ養ヒテ愛玦ト謂フ爲リ。亦愛子トモ呼ブ° 績シテ繭ト成リ出蛾シテ卵ヲ生ジ、卵ハ七日＝又剖シ蠶ト成リ、多ク之ヲ養フ。此レ則チ愛蠶也。藏卵ノ時人＝見セシム勿レ。二七(十四?)ノ赤豆ヲ用ヒテ器底＝安ズ應シ。膺月桑柴(十二月ノ桑木?)二七枚ヲ以テ麻卵紙(卵紙)ヲ水ノ高下與重卵トヲ相齊シキ＝當ラシメ、若シ外水高ケレバ則チ卵ハ死シテ復ビ出デズ。若シ外水、卵ヨリ下ナレバ則チ冷氣少ナク其ノ出勢ヲ折スル能ハズ。其ノ出勢ヲ折シ能ハザレバ則チ三七日ヲ得ズ。三七日ヲ得ザレバ出ズルト雖モ成ラ不ル也。不成者ハ徒績ト云フ。成繭出蛾シテ卵ヲ生ジ、七日＝再ビ剖生セズ。翌年＝始メテ生ズルナリ。樹蔭ノ下＝得ント欲スルモ亦有リ。器口ヲ泥(泥デロヲ封ズルコト)

シ、三七日＝亦成ル者有リ。

雜五行書＝曰ク、二月上壬＝土ヲ取り、屋ノ四角＝泥スレバ、蠶＝宜シ吉ナリ。

『今世＝案ジテ、三臥一生蠶、四臥再生蠶、白頭蠶、頰石蠶、楚蠶、黑蠶、兒蠶有リ。一生再生之異灰兒蠶、秋母蠶、秋中蠶、老秋兒蠶、秋末老蠶兒蠶、綿兒蠶、同功蠶或ハ二蠶三蠶共＝一繭ヲ爲スモノ有リ。凡三臥四臥ハ皆絲綿ノ別有リ（三臥四臥 三眠四眠蠶？絲綿——生絲眞綿）。凡ソ蠶ハ小ナルトキ從リ魯桑ヲ與フル者ハ乃チ大トナリ簇＝入ル＝至ルマデ荆魯二桑＝テ飼フ得シ、若シ小＝荆桑ヲ食セシメ、中＝イタリ魯桑ヲ與フレバ、則チ裂腹ノ患有也。

『楊泉物理論＝曰ク、人主ノ養民ヲ蠶母ノ養蠶ノ如キ＝使ムルナレバ、共用豈徒（唯）絲繭ノミ＝而已哉（止マラン哉）。

五行書＝曰ク、蠶ノ善惡（蠶作ノ良否）ヲ知ラント欲セバ、常＝三月三日ヲ以テ、天陰リ、如（若）シ日無ク、雨見ザレバ、蠶ハ大＝善シ。又法（飼イ易イコト？）ナリ。『馬ノ牙齒ヲ榎下、蠶架下？）＝埋メ蠶＝宜セシム』。

龍魚河圖＝曰ク、宅亥地（？）＝於テ、蠶沙ヲ埋ムレバ大＝富ミ、蠶絲ヲ得吉利ナリ。一斛二斗ヲ以テ甲子日＝鎮宅セバ大吉ナリ。千萬財ヲ致ス。

養蠶法。種繭ヲ收取スル＝ハ必ず簇ノ中＝居ル者ヲ取ル。『上＝近ケレバ則チ絲薄ク、地＝近ケレバ則チ子ヲ生セザル也』。屋ヲ泥（土ヲ塗ル事）スル＝ハ、福德（養辰名ナリ即チ天喜福德等ハ吉辰、大耗小耗等ハ凶辰）ヲ用ヒテ土ヲ上グレバ利（吉）ナリ。屋ハ四面＝蠶ヲ閉クヲ欲シ、紙＝テ厚ク糊リテ籠（隔リ）ト爲シ、屋内四角＝火ヲ焚キ、『若シ火ガ一處＝在レバ則チ冷熱不均トナル』、初生（蟻蠶）ハモヲ以テ掃キ、『茨ヲ用ヒテ掃ケバ則チ蠶ヲ傷フ』。火ヲ調シテ冷熱得所（適當）ヲラシメ、『熱スレバ則チ焦燥トナリ、冷スレバ則チ長ク遲シ（經過日數長イ）。』再眠＝至ル＝比（及）ベバ、常＝三箔ヲ須トシ、中箔上＝蠶ヲ安キ、上下＝ハ空置トシ、『下箔ハ土氣ヲ障ル。上箔ハ塵埃ヲ防グ』。小ナル時ハ福德（福德吉辰）ヲ採（採擇）テ上桑（掃立）シ、桑ヲ（？）懷中＝オオテ暖セシメ、然後之ヲ切ル。『蠶小ナルトキハ露氣ヲ見ルヲ用セズ。人体ヲ得レバ則チ衆惡ヲ除クナリ』。飼蠶毎＝履幘（窓掛ノ様ナモノ）ヲ卷キテ飼訖（給桑終了）レバ下＝還ス。『蠶ハ明ヲ見レバ則チ食フ。食多ケレバ則チ生長ス』。老タル時、雨＝値シ者、則チ繭ハ壞ス。屋裏＝於テ之ヲ簇（上簇）ス宜シ。箔上＝於テ薄ク薪ヲ布キ、蠶ヲ散シテ訖リ＝又薪ヲ以テ薄ク之ヲ覆ヒ、一榎（蠶架面積ノ單位？）＝十箔ヲ安ク得シ。

又法。『大科（大株）蓬蒿ヲ以テ薪ト爲シ、蠶ヲ散シテ遍（普ク）ナラシメ、之ヲ棟梁椽柱＝於テ懸ゲ、或ハ細ヲ垂シテ鈎戈鵝爪龍牙＝テ上下＝數重トシ、所在皆懸ゲ得テ終リ＝薪ノ下＝微＝炭ヲ生（起）シ、以テ之ヲ煖ム。煖メ得レバ則チ作ル＝（營繭）速シ。傷寒ナレバ（寒クアレバ）則チ造ル＝遲シ。數回入りテ待チ、熱シト看レバ則チ火ヲ去ル。蓬蒿ハ疎涼＝シテ鬱悒之患ヒ無ク、死蠶ハ旋（自ラ）＝墮チ、汚繭之患ヒ無シ。沙葉（簇付繭）ヲ作ラズ。癢痕之疵無シ。蠶ヒクアラバ則チ繰＝難シ。繭汚レバ則チ絲ハ散ル。癢痕アレバ則チ緒ハ斷ス。設令（假令）雨無クトモ蓬蒿簇亦良シ。其ノ外＝在リテ簇スル者ハ脫（萬一）＝天寒＝遇ヘバ、則チ全ク繭ヲ作ラズ。蠶ヲ用ヒテ繭ヲ殺セバ繰＝易シ。而モ絲ハ細シ（？）日＝晒シテ死ヌモノハ白クシテ而シテ薄脆ナリト雖モ。繰練（絹絲織物類）、衣著ハ幾將倍矣。甚シキ者ハ虛失＝シテ歲功堅脆（全然失敗ノ意？）トナリテ資生（資本）懸絶（心配シナガラ絶エルコト？）ス。要理安（如何デカ）知ラナル可ケン哉。

崔寔日……（以下百四十八字略譯）

第五卷 第二號 正 誤

頁	行	誤	正
目次	II	Pink <u>Pisease</u>	Pink Disease
目次	V	<u>餌食</u>	食餌
111	下 2	Glomerulara	Glomerularia
114	上 10	Corticuim	Corticium
115	下 12	長短	長徑
116	文献 2	農事報 7 報	農事報
124	上 5	socalled	so called
124	英文中曲線	Time 1ノ通り下ヨリ夫々=a. b. c. d.	
126	下 1	cudrania	Cudrania
131	下 5	語り終る	語り居る
132	考察、上 7	有する故に	有する故と
138	上 10	外國	外國
144	上 8	ビスコース絹紡	ビスコース絹糸
149	左、下 9	蠶体内容器官	蠶体内器官
149	右下 14	効果	効果

上田蠶絲専門學校  
圖書

符号 番号	390	貸	月日	昭和
		入	10. 8. 20	
番号	59			168